

私の好きなとんぼの本③

中谷美紀

女優



なかたに・みき 1976年東京都生まれ。
10月5日より主演舞台『ロストインヨ
ンカース』がバルコ劇場他で上演。今年11月
には映画『清須会議』12月には『利休にた
ずねよ』が公開。来年1月よりNHK大河
ドラマ『軍師官兵衛』に出演。著書に『イ
ンド旅行記（1・4）』『女心と秋の空』など。

ため息と回し読み



草づくし

白洲正子

120頁／1575円

老若男女を問わず、花の名前を知っている人を無
条件に素敵だと思えます。高山植物のくろゆりを
めぐって北政所と淀君が火花を散らしたという伝
説を、本書ではじめて知りました。



沢村貞子の献立日記

高橋みどり 黒柳徹子

山田太一 笹本恒子ほか
128頁／1680円

女優としてのみならず文筆家としてもいぶし銀の
輝きを放つていらした沢村貞子さんが27年間にわ
たつて綴った献立は、いたずらに過ぎてゆく日常
がどれほど尊く愛おしいものか教えてくれます。



世界の名作住宅をたずねる ルイス・バラガンの家

ワタリウム美術館編
144頁／1575円

シンプルな線と面で縁取られた建築が日本人の心
をくすぐります。「ああ、こんな家で暮らしたい」
と思わずため息が漏れるのは、余白がこの家を覆
っているからなのでしょう。



茶碗と茶室

茶の湯に未来はあるか

樂吉左衛門 川瀬敏郎
木村宗慎
128頁／1680円

映画『利休にたずねよ』にて、利休の妻宗恩を演
じた折に、長次郎の「万代屋黒」でお茶を点てる
という又とない機会に恵まれましたが、現代に生
きる人間が茶の湯とどう係わっていくのか、本書
の問いかけに身がすくみます。



浮世絵入門 恋する春画

橋本治 早川聞多
赤間亮 橋本麻里
128頁／1680円

男女がはばかりもなく、くんずはぐれつしている
姿が笑いを誘い、徹夜仕事の折などには一服の清
涼剤のように疲れを癒やしてくれるので、思春期
の学生よろしく回し読みをしたりしています。